

相談窓口のご案内

弊社商品をご購入ありがとうございます。製品の使い方相談、修理相談については下記の窓口をご利用ください。
 なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「こんなときは／故障かな?と思ったら」などを一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名(表紙右上表示)、②お買い上げ日、③お買い上げ販売店、④故障症状、⑤症状によっては製品と一緒に動作確認させていただく場合がありますので、製品を近くにご用意ください。具体的な症状をご確認の上ご連絡ください。

※出張での使い方の説明、修理はおこなっていませんので、ご了承ください。

ホームページで
 製品サポート情報や、お問い合わせについてご覧いただけます。
<http://www.tohshoh.jp>

使い方／修理相談窓口

電話 048-997-2244

FAX 048-997-2082

株式会社とうしょう カスタマーサービス
 〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曾根1442-1

保証書

品名	FMラジオ付き ポータブルCDプレーヤー		型名	CD-139FM
お客様	お名前	ご住所		
		電話番号 ()		
お買い上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号			
	年 月 日			
保証期間 (お買い上げ日より)	本体1年 (但し消耗品は除く)			

- ＜無料修理規定＞
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっていません。
 - 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ②お買い上げの販売店からの移送、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - ③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
 - ④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
 - ⑤用途以外で使用した結果の故障及び損傷。
 - ⑥本書のご提示がない場合。
 - ⑦本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - ⑧本書は日本国内においてのみ有効です。
 - ⑨本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

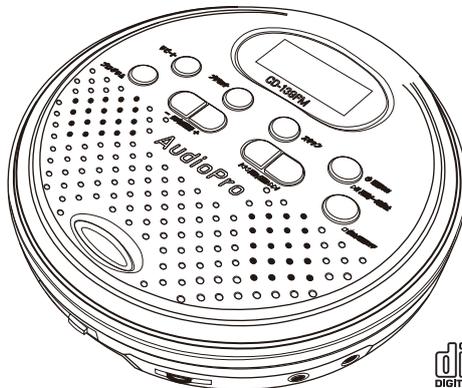
＜製品部品の保有期間＞ 部品保有期間は製品製造終了から6年間です。
 ※一年間は無料修理をおこないます。但し、お買い上げより1カ月間過ぎた後の修理依頼に関して、弊社への送料はお客様ご負担にてお願いします。なお、修理完了後の送料は弊社負担にて発送させていただきます。

型名：CD-139FM

FMラジオ付き ポータブルCDプレーヤー 取扱説明書(保証書付)

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をごらんください。



■仕様

チャンネル数	2チャンネルステレオ	
再生可能ディスク	CD/CD-R/CD-RW 対応ファイル形式：CD-DA	
実用最大出力	0.8W×0.8W 8Ω	
出力端子	ヘッドホン出力 3.5mmステレオミニジャック	
電源	DC 4.5V/500mA DC3V(別売り単三乾電池×2本使用)	
消費電力	約1.5W	
本体サイズ	約14.6×14.6×3.3 cm	
質量	約259g	
●連続再生時間	イヤホン使用時	CD約6時間/FMラジオ約24時間
	スピーカー使用時	CD約4時間/FMラジオ約18時間
	(使用状況により異なります)	

輸入元：株式会社とうしょう 〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ曾根1442-1 カスタマーサポート：048-997-2244

安全上の注意

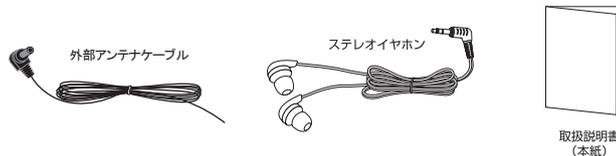
絵表示について この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お世になるかや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
	△記号は注意(注意・警告・危険を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。	
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。	
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。	

- 警告**
- 本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
 - ACアダプター使用時にぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
 - ACアダプターをご使用時に、ACアダプターをコンセントから引き抜くときは、ACアダプターを持って引き抜いてください。火災・感電の原因となります。
 - 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ACアダプター使用時はコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器に近い近づいたり)引っぱったりしないでください。電源コードが破損したり、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。
 - 本器の裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
 - 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。ACアダプター使用時はコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
 - 万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電池またはACアダプターを本体から抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。(特にお子様がいるご家庭ではご注意ください。)

- 注意**
- 直射日光の当たる所、温室やサランラームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - 長時間使用しない場合は、電池を本体から抜いてください。電池が液漏れを起こし本体が故障します。電池の液漏れによる故障は保証の対象外となります。
 - 湿気やほこりの多い場所、油煙や蒸気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - 長時間使用しない場合は、電池を本体から抜いてください。電池が液漏れを起こし本体が故障します。電池の液漏れによる故障は保証の対象外となります。

〔付属品〕



こんなときは／故障かな?と思ったら

●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症状	ここをお確かめください
音が出ない 音が途切れる	●音量は十分ですか? ●電池の残量は十分ですか? ●イヤホンが挿入されていませんか?
CDの再生ができない	●本機で使用できないCDではありませんか? ●CDの裏表が間違っていないでいませんか? ●CDが汚れていませんか?
音飛びがおこる 音割れがする	●CDに大きな傷やそりはありませんか? ●音量が大きすぎませんか?
ラジオが受信できない	●イヤホン端子にイヤホン、または付属のアンテナケーブルを挿し込んで下さい ●スキャン後はプリセットを押して放送局を変えて下さい。

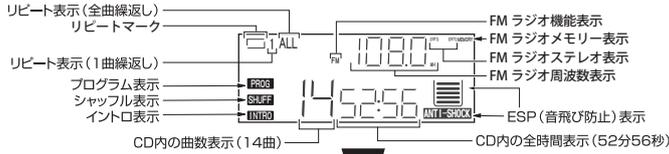
日常のお手入れ

△注意

- 高温多湿の場所に設置しないでください
 正常な機能を維持し、未永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使用にならないでください。変形したり、故障の原因となることがあります。
- 汚れを取るときは
 汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に濡した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ずACアダプターを本体から抜いてから行ってください。研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質したり、曇ったりすることがあります。

各部の名称

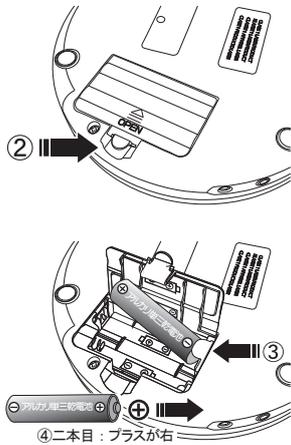
●ディスプレイ表示



電源について

電池の入れ方 (交換方法)

- ①本機の電池挿入口は本体裏面にあります
- ②外縁にある爪を||>の方向に引いて蓋を開きます。
- ③1本目の電池を挿入します。以下の点にご注意下さい。
 - ・プラス (+) が左、マイナス (-) が右です
 - ・マイナス (-) 側からセットします。
 - ・電池押さえ板の下に電池を押し込み、奥の金属バネを右方向に押し縮めるとプラス (+) 側がはまります。
- ④2本目の電池を挿入します。1本目と同じ挿入方法ですがプラス (+) とマイナス (-) の向きが逆になりますので注意下さい。



ACアダプターについて ※本機にACアダプターは付属しません。

- 本機の定格は以下の通りです。汎用アダプター等をご購入の際ご参照下さい。
- ※必ず下記定格を厳守の上ご使用下さい。故障・破損による怪我・火災等の原因となり危険です。
- ・定格: 4.5V/500mAh
- ・極性: ⊖ ⊕ センタープラス
- ・プラグサイズ: 外径 3.5mm / 軸長 10mm 以上

■ご注意 (免責事項) 上記定格、極性、プラグサイズの異なる機器を使用しての故障・破損につきましては、いかなる理由に於いても有償・無償に関わらず保証・修理の対象外となります。また、同理由により発生する身体・財産への損害・損失について一切の保証をいたしません。

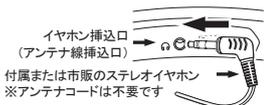
付属アンテナコード / イヤホンの接続方法

本機はFMラジオが使用可能です。イヤホン端子がアンテナ入力端子を兼ねていますのでスピーカーで聴く場合は付属のアンテナコードをイヤホン端子に挿し込んで下さい。イヤホンで聴く場合はイヤホンだけを挿し込んで下さい。お使いのイヤホンがアンテナの役割をします。

スピーカーでラジオを聴く場合

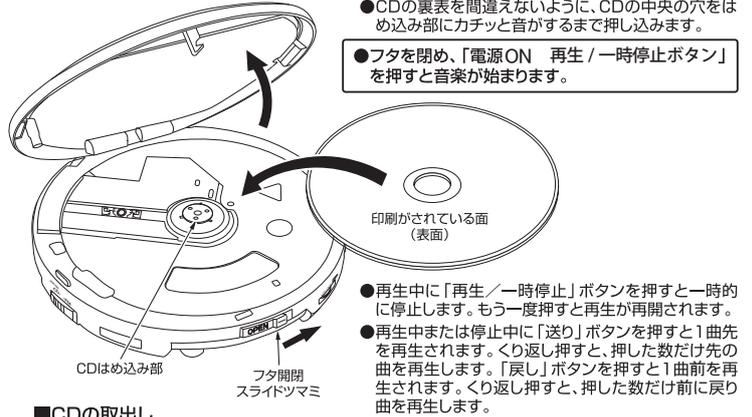


イヤホンでラジオ・CDを聴く場合



CDの聴き方

CDの基本操作



■CDの取出し

- 停止ボタンを押すと音楽が止まります。もう一度押しと電源を切ることができます。
- スライドつまみでフタを開け、CDはめ込み部に指を添えて、CDの端を少し持ち上げてCDを取り出すしてください。CDが傷つかないようにていねいに取扱ってください。

音飛び防止機能

- CDを再生中は音楽データを本体に少しずつ貯めて順番に再生する事で音飛びを防ぎます。CDを再生してすぐはデータの蓄積が足りず (表示が浅い) 音飛びする場合があります。



リピート再生

- リピートボタンを何度か押してディスプレイに右図のようなマークを表示させて再生ボタンを押すと曲をくり返し再生します。停止ボタンを押すと解除されます。



イントロ再生

- リピートボタンを何度か押してディスプレイに「INTORO」を表示させて再生ボタンを押すと曲の最初の約10秒間を再生し、また次の曲の最初の約10秒間を再生と続きます。停止ボタンを押すと解除されます。



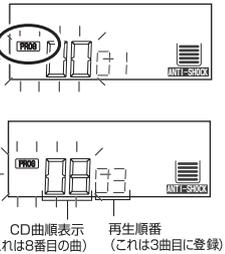
シャッフル再生

- リピートボタンを何度か押してディスプレイに右図の「SHUFF」を表示させて再生ボタンを押すと全曲の順番が不規則に入れ替わって再生されます。停止ボタンを押すと解除されます。



プログラム再生

- ①お好みの曲順に20曲までプログラム再生できます。
- ②停止状態で「プログラム」ボタンを押すとディスプレイに「PROG」が表示されCDトラックナンバー 00 と一緒に点滅します。
- ③「送り」ボタンを押し曲番を選択し、「プログラム」ボタンを押すと登録されます。これをくり返し曲順を登録してください。
- ④「再生」ボタンを押すと登録した順に再生されます。
- ⑤プログラム再生を終了するには、「停止」ボタンを押すと「PROG」表示表示が消えて解除されます。



FMラジオの使用法

チューニング方法 本機はオートチューニング機能を搭載しています

- ①アンテナコードまたはイヤホンを接続した状態で本体左側面のCD/FM切替スイッチをFM側にスライドします。
- ②本体上面の「スキャン」ボタンを押すと液晶画面のFMラジオ周波数表示が自動で変わり受信可能な放送局を本体に登録します。
- ③FMラジオ周波数表示が止まったら準備完了です。本体上面「プリセット」ボタンを押すと登録された放送局がP01→P20まで順番に切り替わります。
- ④[プリセット]ボタンを押しP02等 (次のプリセット番号) が表示されている間に [ラジオ選局+] ボタンを押すと任意のプリセット局に切替が可能です。
- ⑤[ラジオ選局+] の長押しで前後の受信可能な放送局まで手動でチューニングが可能です。
- ⑥ラジオの使用をやめるには本体左側面のCD/FM切替スイッチをCD側に切替えて下さい。



POINT! ワイドFMについて

本機はFMラジオのみ受信可能です。AM放送はワイドFMとして受信可能です。詳細は各地新聞のラジオ欄をご確認下さい。

